

三和中学校 第1学年 数学課題
教科書「数学の世界1」
家庭学習を進めていきましょう！！

- | | | | |
|------|--------|---|----|
| 1-1① | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-1② | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-1③ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-1④ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2① | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2② | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2③ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2④ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2⑤ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2⑥ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-2⑦ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3① | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3② | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3③ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3④ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3⑤ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3⑥ | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| 1-3⑦ | 学習した日【 | 月 | 日】 |

数学の学習ノート

- | | | | |
|----------------|--------|---|----|
| 1年のP23までを丁寧に解く | 学習した日【 | 月 | 日】 |
| | 学習した日【 | 月 | 日】 |

※このプリントだけではなく、「Q1をノートに解きなさい。」のように
プリントで例題を確認後、ノートに練習問題をするようになっています。

第1章 正の数, 負の数

第1節 正の数, 負の数

【1 プラスとマイナス】

教科書 10 ページ

□の文章をよんで, 各地の最高気温と最低気温を確認しましょう。

大分 最高気温 ℃ 最低気温 ℃

長野 最高気温 ℃ 最低気温 ℃

東京 最高気温 ℃ 最低気温 ℃

旭川 最高気温 ℃ 最低気温 ℃

教科書 □の温度計の図に, 大分・長野・東京・旭川の最低気温を示しましょう。

教科書 11 ページ

東京も旭川も同じ6℃を示していても,

東京は 0℃より () である

旭川は 0℃より () である

↓

これを区別するのに

東京の 0℃より () を「 ℃」と表し, 「 ℃」と読む

旭川の 0℃より () を「 ℃」と表し, 「 ℃」と読む

Q 1 (1) 0℃より3℃低い温度を ℃

(2) 0℃より7℃高い温度を ℃

教科書 □を読んでの高さを表す方法を調べましょう。

海面の高さを基準の0mとすると,

海面より874m高い場所の高さは mである

海面より170m低い場所の高さは mである

海面より 56m低い場所の高さは mである

Q 2 (1) 海面より8848m高いエベレスト山の山頂の高さは mである

(2) 海面より8020m低い日本海溝の海底の高さは mである

本授業の教科書による学習は, 以上です。

続いて, 「数学の学習ノート1年」の2ページの□と□に取り組みましょう。

【2 反対向きの性質をもった数量】

12ページ

【?】 反対向きの意味をもつことばを探してみましょう。

- 高い ⇔ ()
 上がる ⇔ ()
 () ⇔ ()
 () ⇔ ()

授業の課題 反対向きの性質をもった数量の表し方を考えよう

※枠を青で囲む

【1】 を見て考えていこう。

道路上の地点の表し方

ある地点Aを基準の0 mとすると

Aから東へ3 kmの地点を「 km」と表す

Aから西へ3 kmの地点を「 km」と表す

[1] 同様に考えると

「+2 km」 はAから へ kmの地点

「-4 km」 はAから へ kmの地点

【2】 を見て考えていこう。

高さの表し方

東京タワーの333 mを基準の0 mとすると

福岡タワーの234 mは、「 m」と表す

↑違いの計算は333 - 234

東京スカイツリー634 mは、「 m」と表す

↑違いの計算は634 - 333

[1] 同様に考えると

350 mの飛行船を基準の0 mとすると

東京タワー333 mは、「 m」と表す

福岡タワーの234 mは、「 m」と表す

東京スカイツリー634 mは、「 m」と表す

Q1

ある品物より6 g 重い商品は「 kg」と表す

ある品物より7 g 軽い商品は「 kg」と表す

基準は ()

13 ページ

3 を見て考えていこう。

道路上での動きの表し方

東西に通じる道路上で、どちらにも進まないことを基準の0 kmと表す。

東へ2 km進むことを、「 km」と表す

西へ2 km進むことを、「 km」と表す

[1] 同様に考えると

「+3 km」は(へ km進むこと)

「-4 km」は(へ km進むこと)

Q2 次の各組の数量を、+、-を使って表しなさい。

(1) 北へ5 km進むこと ()

南へ5 km進むこと ()

(2) 2000円の収入

1000円の支出

まとめ ※13ページの10行目の太字を書き込もう ※枠を赤で囲む

4 を見て考えていこう。

ある時刻から「-3時間後の時刻」は-を使わないで表すと

「 」と表す

「-5年後」は「 」と表す

Q3 次の数量を-を使わないで表す

(1) 「-500円の収入」は「 」

(2) 「-4 cm長い」は「 」

(3) 「階段を-7段下る」は「 」

本授業の教科書による学習は、以上です。

続いて、「数学の学習ノート」2・3ページの3と4と5と6に取り組みましょう。

【3 正の数と負の数】

14 ページ

授業の課題 ※枠を青で囲む

① を見て考えていこう。

数の大きさを+, -で表す

「0より5大きい数」= 「 」

「-5」= 「 」

Q1 「+3」= 「 」

「-2.5」= 「 」

0より大きい数を「 」 +を「 」の符号」

0より小さい数を「 」 -を「 」の符号」

※0は、「 」

Q2

(1) 0より2大きい数 ()

(2) 0より2小さい数 ()

(3) 0より1.5大きい数 ()

(4) 0より 小さい数 ()

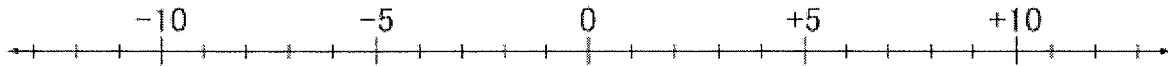
まとめ ※枠を赤で囲む

	負の整数
整数	0 ※0は、「 」
	正の整数 (=)

15 ページ

正の数と負の数を数直線上の点で表す

2



[1] +3を表す点を示しなさい。

[2] -3を表す点を示しなさい。

教科書を見て、Q3に答えましょう。

A ()

B ()

C ()

D ()

教科書を見て、Q4に答えましょう。



まとめ 教科書Q4の次に書かれていることをまとめましょう。※枠を赤で囲む

本授業の教科書による学習は、以上です。

続いて、「数学の学習ノート」4ページの1と2と3と4に取り組みましょう。

【4 数の大小】

16 ページ

授業の課題 ※枠を青で囲む

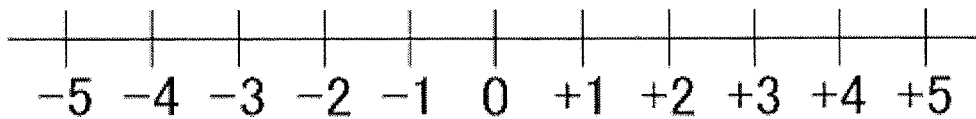
1] を見て考えていこう。

-5 と -3 の大小を調べる

-5 は「0 より」

-3 は「0 より」 だから () < ()

[1] -5 と -3 は数直線上ではどちらが右にあるか。 () が右



※数直線上では大きい数字を表す点のほうが、() にある。

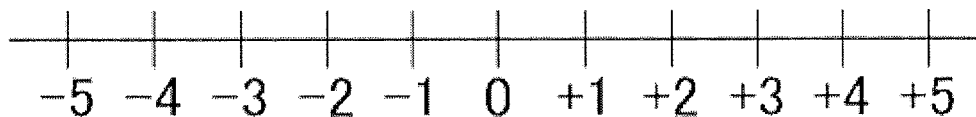
Q 1 次の2つの数量の大小を調べ、不等号を使って表す。

(1) -2 と -6 () < ()

(2) -6 と +2 () < ()

+3 は原点0から3だけ右にある

-3 は原点0から3だけ左にある 0からの距離はどちらも ()



ある数を表す点を数直線上にとったとき、

原点からその点までの距離を、その数の () という。

+3 の 絶対値は ()

-3 の 絶対値は ()

0 の 絶対値は ()

17ページ

Q2 教科書をみてQ2を解きなさい。

$$+\frac{2}{3} \text{ の絶対値は } (\quad) \quad -\frac{2}{3} \text{ の絶対値は } (\quad)$$

$$+1.6 \text{ の絶対値は } (\quad) \quad -1.6 \text{ の絶対値は } (\quad)$$

Q3 次の(1)(2)の数をすべていいなさい。 すべてとあるときは2つ以上の答え

(1) 絶対値が5である数

(2) 絶対値が3より小さい整数

Q4 教科書をみてQ4を解きなさい。

小さい順

まとめ【数の大小】

1

2

3

Q5 次の2つの数量の大小を調べ、不等号を使って表す。

$$(1) +3 (\quad) -7 \quad (2) -20 (\quad) -40$$

$$(3) -2.03 (\quad) -2.3 \quad (4) -1 (\quad) -\frac{5}{6}$$

3つ以上の大小の場合 $-5 < -3 < +3 \dots$ 基本左が小で右が大 小<中<大

Q6 教科書をみてQ6を解きなさい。

(1) (2)

本授業の教科書による学習は、以上です。

続いて、「数学の学習ノート」5ページの□5と□6と□7と□8に取り組みましょう。

【1 加法】

18ページの□をみて、もとの地点からどれだけ進んだか考えよう。

- (1) 地点○から東へ3 m進み、さらに東へ2 m進む
- (2) 地点○から西へ3 m進み、さらに西へ2 m進む
- (3) 地点○から東へ3 m進み、さらに西へ5 m進む
- (4) 地点○から西へ3 m進み、さらに東へ5 m進む



授業の課題 ※▲を写す 青で囲む

1 教科書の図を見て、同じ符号の足し算の仕方を考えよう。足し算を「 」という

□の(1)は

[1] $(+3) + (+2) =$

(2)は

[2] $(-3) + (-2) =$

Q 1

(1) $(+1) + (+4) =$

(2) $(-3) + (-5) =$

19ページ

1 教科書の図を見て、異なる符号の足し算の仕方を考えよう。

□の(3)は

[1] $(+3) + (-5) =$

(4)は

[2] $(-3) + (+5) =$

Q 2

(1) $(-9) + (+8) =$

(2) $(+4) + (-4) =$

Q 3

(1) $(-3) + 0 =$

(2) $0 + (-3) =$

本授業の教科書による学習は、以上です。

続いて、「数学の学習ノート」6ページの□1と□2と□3と□4に取り組みましょう。

【2 加法の規則】

20 ページ

授業の課題 ※▲を写す 青で囲む

1 教科書の図を見て、同符号の加法の仕方を確認しよう。

$$[1] \quad (+3) + (+2) = + (\quad + \quad) =$$

$$[2] \quad (-3) + (-2) = - (\quad + \quad) =$$

Q 1

$$(1) \quad (+6) + (+2) =$$

$$(2) \quad (-6) + (-2) =$$

$$(3) \quad (-5) + (-9) =$$

$$(4) \quad (-7) + (-7) =$$

2 教科書の図を見て、異符号の加法の仕方を確認しよう。

$$[1] \quad (+3) + (-5) = - (\quad - \quad) =$$

$$[2] \quad (-3) + (+5) = + (\quad - \quad) =$$

Q 2

※↓途中の考えをこのように書いてみましょう。

$$(1) \quad (-3) + (+3) =$$

21 ページ

Q 3

$$(1) \quad (+6) + (-2) =$$

$$(2) \quad (-6) + (+2) =$$

$$(3) \quad (+3) + (-9) =$$

$$(4) \quad (-2) + (+7) =$$

3 ある数と0との加法

$$(+3) + 0 =$$

$$0 + (-2) =$$

まとめ【加法の規則】※赤で囲む

本授業の教科書による学習は、以上です。

続いて、21 ページのQ 4をノートに解きなさい。

【3 加法と法則】

22ページの□を見て、表を完成させましょう。(教科書に書き込み)

1

ある数に正の数を加えると (和はもとの数より)
 ある数に負の数を加えると (和はもとの数より)

2

正の数、負の数の加法について成り立つ法則を調べよう。

ア $(-7) + (+2) =$ $(+2) + (-7) =$

イ { }を先に計算してみましょう。

$(-3) + (+4) + (-2)$ $= \{ (-3) + (+4) \} + (-2)$ $= (+1) + (-2)$ $=$	$(-3) + (+4) + (-2)$ $= (-3) + \{ (+4) + (-2) \}$ $= (-3) + (+2)$ $=$
--	--

※アもイも、式や計算過程は違っても、答えは同じ

3

教科書を参考に工夫して計算してみましょう。

$(+3) + (-5) + (+7)$
 $=$

まとめ 23ページ【交換法則・結合法則】

本授業の教科書による学習は、以上です。

続いて、23ページのQ2をノートに解きなさい。

32ページの①Aと②Aをノートに解きなさい。

【4 減法…引き算】

24 ページ

① 減法は加法に直して計算します。

「+2」をひくことは「-2」を加えることと同じです。

↓

$$\begin{aligned} & (+5) - (+2) \\ = & (+5) + (\quad) \cdots \text{ひく数の符号を変えて加法に直して計算します。} \\ = & \end{aligned}$$

①を参考に、Q1をノートに解く。※3行で書くこと。横には書きません。

$$\begin{aligned} \text{(例)} \quad & (+6) - (+4) \\ & = (+6) + (\quad) \\ & = \end{aligned}$$

25 ページ

② 減法は加法に直して計算します。

「-2」をひくことは「+2」を加えることと同じです。

$$\begin{aligned} & (+3) - (-2) \\ = & (+3) + (\quad) \cdots \text{ひく数の符号を変えて加法に直して計算します。} \\ = & \end{aligned}$$

②を参考に、Q2をノートに解く。※3行で書くこと。横には書きません。

$$\begin{aligned} \text{(例)} \quad & (+3) - (-4) \\ & = (+3) + (\quad) \\ & = \end{aligned}$$

Q3をノートに解く。

【5 減法の規則】

まとめ 26 ページ【減法の規則】 ※赤で囲む

本授業の教科書による学習は、以上です。

26 ページのQ1とQ2とQ3を解きなさい。

32 ページの③Aをノートに解きなさい。

【5 減法の規則】

27ページ

$$\begin{array}{l} \boxed{1} \quad (+3) - (+5) \qquad \qquad (+3) - (-5) \\ \quad = (+3) + (\quad) \qquad \quad = (+3) + (\quad) \\ \quad = \qquad \qquad \qquad \qquad \quad = \end{array}$$

ある数から正の数をひくと（差はもとの数より_____）

ある数から負の数をひくと（差はもとの数より_____）

$\boxed{2}$ 教科書を参考に、計算してみましょう。

$$\begin{array}{l} (+4) - (+2) - (-1) \\ = (+4) + (\quad) + (\quad) \end{array}$$

本授業の教科書による学習は、以上です。

27ページのQ5をノートに解きなさい。

$\boxed{2}$ を参考に、33ページの④Aをノートに解きなさい。

【6 加法と減法の混じった式の計算】

28 ページ

$$\begin{aligned}
 \text{?} \quad & (+5) - (+2) + (-3) && \text{減法は加法に直す。} \\
 = & (+5) + (\quad) + (-3) && \text{加法だけの式に直して計算する。} \\
 = & \\
 = &
 \end{aligned}$$

1 教科書を参考に次の計算をしなさい。

$$\begin{aligned}
 & (+5) - (+2) + (-9) - (-4) \\
 = & (+5) + (\quad) + (-9) + (\quad) && \text{加法だけの式で計算} \\
 = & \{ (\quad) + (\quad) \} + \{ (\quad) + (\quad) \} && \text{正の数同士 負の数同士で計算} \\
 = & (\quad) + (\quad) \\
 = &
 \end{aligned}$$

上記の計算で、 $(+5) + (-2) + (-9) + (+4)$
 加法だけの式の () の中身、 $+5 - 2 - 9 + 4$ を () という。
 $+5 + 4$ を ()
 $-2 - 9$ を () という。

29 ページ

Q2 1 を参考に計算しなさい。

$$\begin{aligned}
 & (+3) + (-4) + (-6) + (+2) && \text{加法だけの式で計算} \\
 = & \{ (+3) + (+2) \} + \{ (-4) + (-6) \} && \text{正の数同士 負の数同士で計算} \\
 = & (\quad) + (\quad) \\
 = &
 \end{aligned}$$

本授業の教科書による学習は、以上です。

1 を参考に、次の計算しなさい。

- 28 ページの Q1 をノートに解きなさい。
- 29 ページの Q3 をノートに解きなさい。
- 29 ページの Q5 をノートに解きなさい。

【7 加法と減法の混じった式の計算2】

30ページ

課題 項の考えを使って計算することを考えよう。

() の中身を 項	$(+5) + (-2) + (-9) + (+4)$
	↓ ↓ ↓ ↓
	+5 -2 -9 +4
項だけの式で表すと	<u>$5 - 2 - 9 + 4$</u> となる。

約束

Q1 項だけを並べた式で表す。

$$(-1) + (-6) + (+3) + (-2)$$

$$=$$

Q2 Q1の逆の問題です。

(1) $-3 + 5 - 7$

$$= (\quad) + (\quad) + (\quad)$$

(2) $6 - 9 + 8 - 2$

$$= (\quad) + (\quad) + (\quad) + (\quad)$$

1 教科書を見て、項だけを並べた式を計算する。

$$5 - 2 - 9 + 4 \qquad \qquad \qquad \text{※ 31ページ見て、計算に使った法則を確認する。}$$

$$=$$

$$=$$

$$=$$

2 教科書を見て、項だけを並べた式に直して計算する。

$$(-5) - (-18) + (-3) - 6$$

$$= (-5) + (+18) + (-3) - 6$$

$$=$$

$$=$$

$$=$$

$$=$$

本授業の教科書による学習は、以上です。

31ページのQ3とQ4をノートに解きなさい。33ページ⑤Aをノートに解きなさい。

【1 乗法】

34 ページ

- 東西に通じる道路をAさんは時速5kmで東に進んでいます。
ある時刻の地点Oを通過しました。1時間後、2時間後…の地点を考えましょう。

1時間後 地点Oより東へ5kmの地点 $\frac{(+5) \times (+1) = +5}{5 \times 1 = 5}$ と考える
小学校の書き方では

課題 正の数、負の数のかけ算を考えよう。

- を読んでかけ算（乗法）の確認をしなさい。

$$\begin{aligned} (+5) \times (+3) &= \\ (+5) \times (+2) &= \\ (+5) \times (+1) &= \\ (+5) \times 0 &= \\ (+5) \times (-1) &= \\ (+5) \times (-2) &= \\ (+5) \times (-3) &= \end{aligned}$$

…Aさんは3時間前にはどこにいた
「地点Oから 　　　 に 　　　 kmの地点」

35 ページ

- 東西に通じる道路をBさんは時速5kmで東に進んでいます。
ある時刻の地点Oを通過しました。1時間後、2時間後…の地点を考えましょう。

- を読んでかけ算（乗法）の確認をしなさい。

$$\begin{aligned} (-5) \times (+3) &= \\ (-5) \times (+2) &= \\ (-5) \times (+1) &= \\ (-5) \times 0 &= \\ (-5) \times (-1) &= \\ (-5) \times (-2) &= \\ (-5) \times (-3) &= \end{aligned}$$

…Bさんは3時間前にはどこにいた
「地点Oから 　　　 に 　　　 kmの地点」

本授業の教科書による学習は、以上です。

34ページのQ2と35ページQ3をノートに解きなさい。

【2 乗法の規則】

36 ページ

課題 正の数, 負の数の乗法の規則を見つけよう。1 同じ符号の2つの数の積

$$\begin{aligned} & (+5) \times (+3) \\ = & + (5 \times 3) \\ = & \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (-5) \times (-3) \\ = & + (5 \times 3) \\ = & \end{aligned}$$

2 異なる符号の2つの数の積

$$\begin{aligned} & (-5) \times (+3) \\ = & - (5 \times 3) \\ = & \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (+5) \times (-3) \\ = & - (5 \times 3) \\ = & \end{aligned}$$

37 ページ

まとめ【乗法の規則】

本授業の教科書による学習は、以上です。

36 ページのQ1とQ2とQ3をノートに解きなさい。

37 ページのQ4とQ5とQ6をノートに解きなさい。

【3 いくつかの数の積】

38 ページ

課題 いくつかの数の積の求め方を考えよう。

$$\boxed{1} \quad \text{ア} \quad (-7) \times (+2) = \qquad (+2) \times (-7) =$$

$$\begin{aligned} \text{イ} \quad & \{ (+3) \times (+4) \} \times (-6) && (+3) \times \{ (+4) \times (-6) \} \\ & = (\quad) \times (-6) && = (+3) \times (\quad) \\ & = && = \end{aligned}$$

まとめ【交換法則・結合法則】

$$\boxed{2} \quad \text{教科書を見て, 計算をしましょう。}$$

$$\begin{aligned} & (-5) \times (+13) \times (+2) \\ & = \end{aligned}$$

39 ページ

$$\boxed{3} \quad \text{教科書を見て, } \underline{\text{積の符号と絶対値を調べよう。}}$$

$$\text{ア} \quad \underline{(-2) \times (+3) \times (-5) = +30} \dots \underline{\text{符号は+ 絶対値は } 2 \times 3 \times 5}$$

$$\text{イ} \quad \underline{(-2) \times (+3) \times (-5) \times (-1) =}$$

$$\text{ウ} \quad \underline{(-2) \times (+3) \times (-5) \times (-1) \times (-4) =}$$

まとめ【いくつかの数の積】

$$\boxed{4} \quad \text{教科書を見て, 計算をしましょう。}$$

$$\begin{aligned} & \underline{(-7) \times (-1) \times 8 \times (-5)} \dots \underline{\text{マイナスが3つ(奇数)}} \\ & = \underline{\quad} \quad \underline{\text{積の符号はマイナス!!}} \\ & = \underline{\quad} \end{aligned}$$

本授業の教科書による学習は、以上です。

38 ページの Q1 をノートに解きなさい。

39 ページの Q2 をノートに解きなさい。

【4 累乗の計算】

40 ページ

課題 同じ数をいくつかかけ合わせる乗法を考えよう。 5×5 同じ数をいくつかかけ合わせたものを () という。 $5 \times 5 \times 5$ $5 \times 5 =$ と表す。 「5の」 「5の」と読む。 $5 \times 5 \times 5 =$ と表す。 「5の」 「5の」と読む。

↑ ※かけ合わせた個数を示す右肩の数を「 」という。

[1] 教科書を見て確認しましょう。累乗の指数を使って表しましょう。

$$(-5) \times (-5) \times (-5) =$$

$$- (5 \times 5) =$$

$$0.2 \times 0.2 =$$

[1] $\left(-\frac{1}{2}\right) \times \left(-\frac{1}{2}\right) =$

41 ページ

[2] 教科書を見て、計算をしましょう。 ※混乱しやすい問題です。

(1) ア $\underline{(-3)^2}$

$$= (-3) \times (-3)$$

=

イ $\underline{-3^2}$

$$= - (3 \times 3)$$

=

[3] 教科書を見て、計算をしましょう。 ※混乱しやすい問題です。

ア $(-2) \times \underline{(-3)^2}$

$$= (-2) \times \underline{(\quad)}$$

=

イ $(-2) \times \underline{(-3^2)}$

$$= (-2) \times \underline{(\quad)}$$

=

本授業の教科書による学習は、以上です。

40 ページのQ1をノートに解きなさい。

41 ページのQ2～Q4をノートに解きなさい。

50 ページの①A・②A・③Aをノートに解きなさい。

【6 除法と除法の混じった式の計算】

課題 除法を乗法に直して計算する方法を考えよう。

復習 $\frac{1}{6} \div \frac{2}{3} = \quad \times \quad$ ※どのように計算しましたか？

↑ () をかける。

1 を読んで、確認しましょう。

正の数、負の数の場合にも、2つの数の積が1であるとき、一方の数を他方の数の()という。

ア $\frac{1}{2}$ の逆数は () イ -6 の逆数は ()

2 を読んで、確認しましょう。

$-\frac{3}{4}$ の逆数は ()

3 ア $20 \div (-4)$ イ $20 \times (-\frac{1}{4})$

=

=

※ (-4) の逆数をかけている→結果は同じ

まとめ

正の数、負の数でわることは、

4 を読んで、確認しましょう。

$\frac{1}{2} \div (-\frac{5}{6})$

=

=

=

5 を読んで、確認しましょう。

$(-8) \times \frac{1}{6} \div (-\frac{2}{3})$

=

=

本授業の教科書による学習は、以上です。

44ページのQ1と45ページのQ2・Q3をノートに解きなさい。

51ページの⑤Aをノートに解きなさい。

【7 四則の混じった式の計算】

46 ページ

課題 加減乗除の混じった式の計算のしかたについて考えよう。

$$\begin{aligned} \text{ア } & 4 + \underline{2 \times 4} - 2 \\ & = 4 + 8 - 2 \\ & = \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{イ } & 4 + 2 \times \underline{(4 - 2)} \\ & = 4 + \underline{2 \times 2} \\ & = \end{aligned}$$

加法・減法・乗法・除法をまとめて () という。

まとめ【計算のしかた】 47 ページ

1 教科書を見て、計算しましょう。

$$\begin{aligned} & \underline{-10 \times 2 + (-6) \div 3} \\ & = -20 + (-2) \\ & = -20 - 2 \\ & = \end{aligned}$$

×, ÷が先

2 教科書を見て、計算しましょう。

$$\begin{aligned} & 3 \times 7 - \underline{\{5 + (-9)\} \div 2} \\ & = \underline{3 \times 7 - (-4) \div 2} \\ & = \quad - \\ & = \end{aligned}$$

{ }の計算が先

3 教科書を見て、計算しましょう。

$$\begin{aligned} \text{ア } & 3 \times \underline{\{(-4) + (-2)\}} \\ & = 3 \times (-6) \\ & = \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \underline{3 \times (-4) + 3 \times (-2)} \\ & = (-12) + (-6) \\ & = \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{イ } & \underline{\{(-3) + 4\} \times (-5)} \\ & = 1 \times (-5) \\ & = \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \underline{(-3) \times (-5) + 4 \times (-5)} \\ & = 15 + (-20) \\ & = \end{aligned}$$

まとめ【分配法則】 47 ページ

本授業の教科書による学習は、以上です。

46 ページのQ1と47 ページのQ2・Q3・Q4をノートに解きなさい。

51 ページの⑥Aをノートに解きなさい。